



ヨソロー

岩東進路指導部だより
第7号 2024.12.23
文責 進路指導部長木村

【3年生へ】

いい結果は約束されている

まずは、推薦や総合型受験などで見事合格を勝ち取った者…おめでとう！でも、これがゴールではなく、君たちの人生はこれからです。残された時間を無駄にせず、4月からの新生活に向けて、検定にチャレンジするなど新たな学びの時間に使ってください。

さて、その他ほとんどの者はここからが本番です…いよいよ第一関門の共通テストまで1ヶ月を切りました。でも、まずは…

ここまでよくがんばりました！

受験勉強を本格的に始めてから、色々な誘惑やプレッシャーがあったことでしょう。それらに打ち克ってきた自分を褒めてあげてください。おそらく高校入試時は、それほど緊張感が無かったはず。受験当日は、その結果次第でその後の人生は大きく変わる、生まれて初めての経験ですから、信じられないくらい緊張するかもしれませんね。

こんな時、「落ち着いて、平常心で」なんてアドバイスを聞いたことがあると思いますが、実は脳科学的には、**緊張状態の方がいい結果になる**（リラックス状態に比べて、正答率は20%くらいアップするのだとか…）のだそうです。だから、この一大イベントの緊張感をワクワクしながら楽しんでください！

そんな大舞台に挑む君たちに、1年生の頃によく語ったこんなお話を…

誰もが試験前には「いい結果」を望みます。でも、この「**いい結果**」とは何でしょう？

きっとお正月には神社に行って、こう願うのでしょうか「奇跡でも何でも構わないから第一志望校に合格できますように」と。その願いが叶ったとして、それが果たして「いい結果」なのでしょうか？

例えば、プロ野球選手になることが夢だった高校生に「奇跡が起きて」、自分が望む「いい結果」…プロ野球選手になれたとします。それは本当に本人にとって幸せなことなのでしょうか？大切なのは、そこに行くに「ふさわしい実力」が備わっているかどうかにかかっていますよね。「ふさわしい実力」がないのにプロの世界に入るとどうなるか…考えればすぐにわかるはずです。人生を長い目で見たとき、「自分にはふさわしくないという結果」が、本人にとっては「いい結果」のときだってあ

るのに、多くの人は「**望む結果＝いい結果**」であると考えてしまします。

こう考えると人間にとって、一番幸せなのは「今の自分にとって一番ふさわしい結果になる」こと

「**いい結果**」とは「**ふさわしい結果**」なのだと思います。

受験も同じです。結果は必ず今の自分に見合ったものになります。もしかしたら、それは第一志望校合格じゃないかもしれないけれど、いい結果は約束されているのだから、安心して今の自分の実力を出し切ってきてください。

でも、「もう決まってるならいいや〜」って勘違いしないでくださいね…大切なことが一つ。

今の自分が変われば、今の自分に「ふさわしい結果」が変わります。

人間ほど一日で大きく変わるものはありません。これまで、そういう生徒を何度も目の当たりにしてきました。共通テストまでは、あと26日、国公立前期試験までは60日以上あります。

現役生は最後まで伸びる！変わる！

先生方みんな応援してます！！がんばれ！！

【1, 2年生へ】

逃げグセ

一度逃げると『逃げグセ』がつくぞ！

私が好きだったドラマ（→）の中の台詞です。

以前私の知り合いに、怒られたり、指導されたりしてどうしようもなくなると、『気絶』する人がいました。信じられないかもしれませんが、八方塞がりの状態になると、その場で目を開けたまま倒れるのです。今となっては笑い話のネタにしていますが、当時、その姿を見たときに、ああ…これが逃げ続けた者の行く末か…と恐怖を感じて依頼、自分の選択が『逃げ』なのかどうかを判断することになっています。当然のごとく、問題となっている『闇バイト』の誘いや、自分の心が壊れそうになったときの『逃げ』は必ず必要なのですが、勉強に限っては、『逃げ』でも、必ず次の壁はやってきます。ずっと逃げ続けることは不可能です。数年後に訪れる受験でも、

「この学校にどうしても行きたいから3科目だけ真剣にやろう！」

というポジティブな選択でなく、

「5科目はしんどいから3科目に絞ろう」

という『逃げ』の選択をしても、成績は絶対に上がりません。そんなことよりも、これからの長い人生において、歯を食いしばってでもがんばらなければならないことは必ずやってきます。その度に

『逃げ』ていては、幸せな人生が訪れるはずがありません。勉強を通じて、そういう『逃げグセ』をつけないこと、自分自身を鍛えることを学ぶのも大切なのではないのでしょうか？